

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
基礎柔道整復学2							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・昼間部	1年	前期	片橋 るみ		○		
分野区分		教育課程			講義形式	コマ数	
専門分野		基礎柔道整復学			座学	2	
科目概要							
<p>柔道整復の基礎知識を身に付ける。 主に、筋、腱、末梢神経等の軟部組織の損傷における損傷程度、種類、分類、症状について理解し、説明できるようにする。また、臨床の場において業務を正しく遂行するための知識を理解し、説明できるようにする。</p>							
目標							
一般目標(GIO) <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>		柔道整復の基礎知識を身に付ける科目である。損傷における評価、判断、治療法等(外傷保存療法の経過及び治療の判定を含む。)について理解し、説明できるようにする。					
到達目標(SBO) <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、定量的な指標(合格基準)</small>		<ul style="list-style-type: none"> ・関節の損傷(捻挫・脱臼)について、複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 ・筋の損傷(筋の構造と機能、筋損傷の概説・分類・症状・治療機序・予後など)について、複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 ・腱の損傷(腱の構造と機能、腱損傷の概説・分類・症状・治療機序など)について、複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 ・末梢神経の損傷(神経の構造と機能、神経損傷の概説・分類、末梢神経損傷の症状・治療機序など)について、複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 ・診察(診察時の注意点、診察手順の概説、診察の時期による分類、治療計画の作成、施術録の扱いと記載)について、複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 					
履修に必要な予備知識や技能							
教科書・参考書							
柔道整復学理論編 解剖学							
受講上の注意							
私語は慎むこと スマートフォン等の電源を切るか、マナーモードにしておくこと							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
中間試験50% 期末試験50%							
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	関節の損傷 関節の構造と機能				筆記用具		
第2回	関節の損傷 関節の構造と機能				筆記用具		
第3回	関節損傷の概説			pp50-52	筆記用具		
第4回	関節の損傷 脱臼			pp52-53	筆記用具		
第5回	関節の損傷 脱臼			pp54-55	筆記用具		
第6回	関節の損傷 脱臼			pp56-57	筆記用具		
第7回	関節の損傷 脱臼			pp58-59	筆記用具		
第8回	関節の損傷 靭帯・関節包の損傷			pp59-61	筆記用具		
第9回	関節の損傷 関節軟骨損傷			pp61-64	筆記用具		
第10回	試験				筆記用具		
第11回	筋の損傷			pp64-67	筆記用具		
第12回	筋の損傷			pp67-71	筆記用具		
第13回	腱の損傷			pp71-73	筆記用具		
第14回	腱の損傷			pp74-76	筆記用具		
第15回	神経の損傷			pp76-78	筆記用具		
第16回	神経の損傷			pp79-80	筆記用具		
第17回	神経の損傷			pp81-82	筆記用具		
第18回	診察			pp83-84	筆記用具		
第19回	診察			pp85-87	筆記用具		
第20回	試験				筆記用具		
第21回	解答解説				筆記用具		
実務経験と本講義との関連について							
接骨院、整形外科クリニックでの勤務、研修での経験を通して、講義します。							
メールアドレス							
katahashi@nihonisen.ac.jp							